

芸の極意

一日サボれば己にバレル
二日サボれば師にバレル
三日サボれば客にバレル

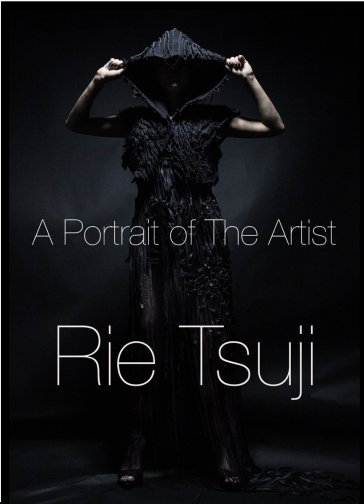
海外で活躍する日本のみなさま

ローザンヌ国際バレエコンクールで 日本の高校生が1・2位

15歳から18歳までを対象とした、若手バレエダンサーの登竜門として名高い、毎年スイスで開催されるローザンヌ国際バレエコンクール。2014年の大会では、日本の高校生、二山治雄さん（当時17歳）と前田紗江さん（当時15歳）が、それぞれ1位、2位になった。1973年より開催されている同コンクールでは、これまでも吉田都氏や熊川哲也氏をはじめ、70名以上の日本人受賞者を輩出している。

榎本大進氏 / 安永徹氏

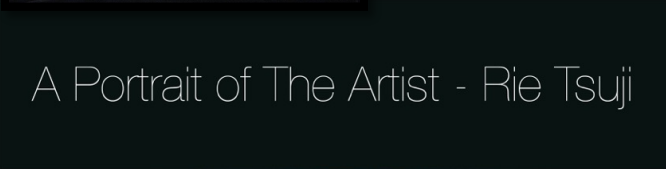
世界最高峰のオーケストラのひとつ、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団は、日本と結びつきが強い。世界的に見てもクラシックファンの多い日本に、1957年以来幾度となく訪れ、公演を果たしている。そんなベルリン・フィルでは、1983年から2009年の間、日本人の安永徹氏がコンサートマスターを務めた。その後任には、同じく日本人の榎本大進氏が就任している。



A Portrait of The Artist

Rie Tsuji

RIE TSUJI



A Portrait of The Artist - Rie Tsuji

左から：サイモン・ユー、三田村みか、鈴木雄介、辻利恵、小坂やすたけ、中尾ゆうこ。



Rie Tsuji -- Model

Simon C. F. Yu -- "White" Photographer/Videographer/Editor

Yusuke Suzuki -- "Black" Photographer/Videographer

Mika Mitamura -- Make-Up Artist

Yuko Nakao -- Stylist

Yasutake Kosaka -- Hair Stylist

Kentaro "Kenny" Kojima -- Interviewer/Japanese text writer

Tomoko Akaboshi -- English Translator

Studio: Riro Muzik www.riromuzik.com
Ree-Aのブログ: <http://ameblo.jp/nadeshikoreea/>
インスタグラム: [Rietsuji0730](https://www.instagram.com/Rietsuji0730)

Simon: www.simonysproduction.com
Yusuke: www.uskphoto.com
Mika: www.michahmau.org
Yuko: www.yukonakao.com
Yasutake: www.yas-take.com
Kenny: www.meltrick.tumblr.com
Tomoko: www.akaboshi.net

Studio: Riro Muzik www.riromuzik.com

Copyright 2014 All Rights Reserved



Look 1 Dress and jacket Logan Neitzel

2) ビヨンセという世界的なビッグアーティストと一緒に(しかも日本人として)お仕事をされるというのはどんな気分ですか?
そして、ビヨンセや彼女のチームとお仕事される中でどんなことが好きだったり、インスパイアされたりしますか?

Rie 「まず、もうこのビヨンセのチームで8年も一緒にやっていると、自分日本人だと思って意識することはないですね。むしろ、それぐらい自然になっていると思うんです。でもこの期間を振り返ると、その8年間で思い出して、確かに最初は、日本人というより、海外から(=アメリカ国外出身)のメンバーがチームの中で入ったので、他はみんな、アメリカ人とかだったので、だから気づくと、「あっ、そこか来たしーん、バスターが言う」とか、違いを覚える瞬間はあったかなーでもインスパイアっていう部分では、今回のフォトセッションと一緒だけ、違うフィールドの本当に超一流の人たちが集まっているわけですね。

ライティングだったりとか、ビデオだったりとか、その上でバンドだったりダンスだったり、ステージデザインだったりね。それで、例えばハーサル中にビデオが仕上がったりハのステージから降りて、私達バンドメンバーもそのビデオを見たりするんですよ。もうその時点で、やっぱりすごく圧倒される仕上がりじゃないですか。だからそういうのもいろいろ感動する、みたいだね(笑) だからもの物凄く刺激も受けるし、そうやっていろんな人からインスパイアされています。」

3) ビヨンセのツアーバンドに参加されて8年目とありますが、今までのビヨンセとの仕事で一番印象的なステージや瞬間がありましたか? そしてどんな瞬間やステージで、ご自分を奮い立たせたいですか?

Rie 「一番最近のツアーでのショーのクライマックスで、私が演奏しているピアノの上にビヨンセが乗るシーンがありますが、それは私のソロからの愛がりで彼女が乗ってくるの。彼女のソウルフルなスピリットを一番近くで感じられるすごくスペシャルな瞬間というかな。二人がお互いをお互いを盛り上げていく例にも代えがたい瞬間ですね。」

Kenny 「では、「ご自分を奮い立たせること」もありますか?」

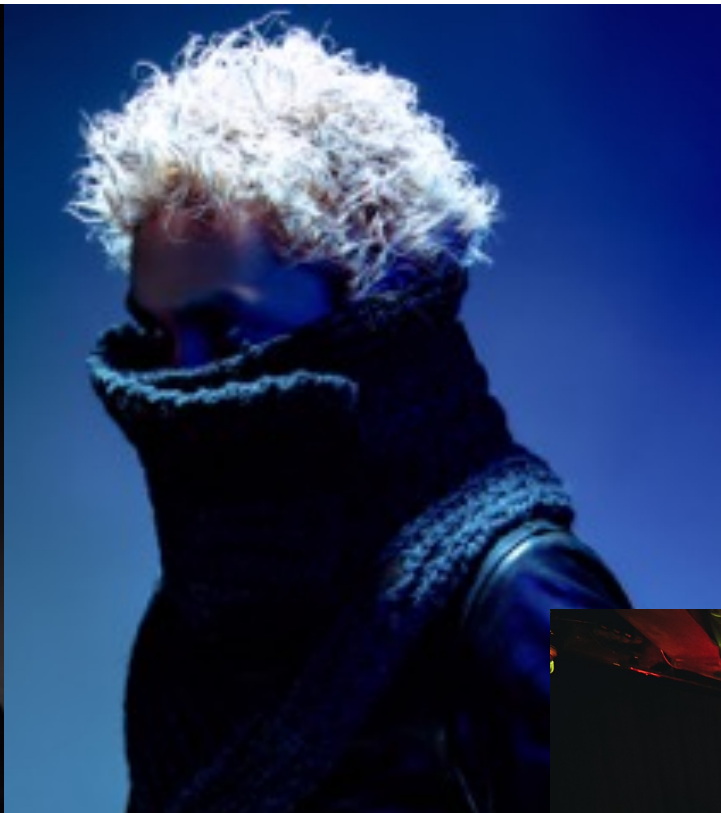
Rie 「時々起きるトラブルシューティングの時とか、例えばステージ上で音がなくなったりとか、突発的な問題が起きた時に、やっぱり自分を奮い立たせるかな。そういう瞬間があって、振えられていくというかな。」



RIE TSUJI

アメリカのバークリー音楽大学、プロフェッショナルミュージックメジャーにて卒業。2006年、Eric Benetの全米ツアーに参加。同年6月、Beyonceのワールドオーデションに合格。彼女のワールドツアーではショーのアレンジに携わり、2009年のベガス“I am Yours”ショーでは、ストリングスアレンジメントを全て任される。

2010年1月に行われたアメリカのグラミー賞でも、彼女の演目のアレンジに携わり、バンドとしても出演。同年5月、アメリカはホワイトハウスにてオバマ大統領、メキシコ大統領の前にてBeyonceのバンドで招待演奏を果たす。



BigYuki



クラシック・ピアノにおいて数々の国際大会の受賞経験を経てバークリー音楽院へ進学。その後独学で音楽表現の幅を広げ、ヒップホップ、ジャズ、クラシック、ソウル、ロック、ダンスミュージックという様々なジャンルをクロスした音楽性と活動が脚光を浴び、今やニューヨークミュージックシーンにおける最注目株のピアニスト／キーボーディストとして知られる存在。その実力は幾多のグラミー受賞ミュージシャンやQ-Tip、タリブ・クエリと言った名プロデューサー達とのコラボレーションでも知られ、あのスティービー・ワンダーのスペシャル・トリビュート・コンサートでは、同じく新進気鋭のグラミー・アーティスト、ロバート・グラスパーと共演し一躍話題となった。

AyaBambi



choreographer Aya Sato と Bambi の2人からなるダンスユニットシャープな動きとシンメトリックな構成が特徴、エッジなルックスと独特の世界観で国内外のダンスシーンはもとより、アート、音楽、ファッションシーンからも注目を浴びている。椎名林檎（NHK紅白歌合戦、ツアー「林檎博'14」）やマドンナ（Brit Awards 2015）にメインダンサーとして出演、その振付も担当する他CMや広告、ファッション誌のモデルとしても活躍中。

三宅純

日野皓正氏の推薦で高校卒業後の1976年にバークリー音楽大学へ入学する。在米中は自己のグループを率いて、ボストン、ニューヨークで演奏活動、1981年にはマサチューセッツ州アーティスト・ファウンデーション主催の作曲コンクール・ジャズ部門で優勝する。1981年に帰国、ジャズミュージシャンとしてライブ、スタジオワーク、作・編曲活動を開始する（演奏楽器：トランペット、フリーゲルホルン、ピアニカ、ピアノ、キーボード、フェンダー・ローズ、プログラミング等）。時代の盲点を突いたアーティスト活動の傍ら作曲家としても頭角を現し、CM、映画、ドキュメンタリー、コンテンポラリー・ダンス等多くの作品に関わる。1983年にデビューアルバム『JUNE NIGHT LOVE』をリリースする。このアルバムに収められた2曲がアンディー・ウォーホル出演のTDKのCMで起用されたことがきっかけでCM音楽制作を始め、後に「CM王」との異名をとるほどCM音楽界では有名になる。3,000作を越えるという担当CMの中には、カンヌ国際映画祭などでの受賞作も多数ある。1996年にはオリバー・ストーンの推薦によりクリエイティブ・アーティストツ・エージェンシー（CAA）と作曲家として正式契約。異種交配を多用した個性的なサウンドは、ピナ・バウシュ、ヴィム・ヴェンダース、パトリス・ルコント、ロバート・ウィルソン、ジャン・ポール・グード、大友克洋等から絶賛されている。ジャンルを超越した活動を通じてハル・ウィルナー、ピーター・シェラー、アート・リンゼイ、エヴァン・ルーラー、アルチュール・H、ヴィニシウス・カントウアリア等海外アーティストとの交流も深く、パリ・シャイヨー宮におけるフィリップ・ドゥクフレとの即興セッション（2000年）、ロバート・ウィルソンの『The White Town』の音楽監督（2002年）、北京での京劇俳優との即興セッション

（2002年）、ベルリン・ジャズ・フェスティバルへの参加（2003年）、ピナ・バウシュ、フィリップ・ドゥクフレ、カトリーヌ・ウィードマン等ダンス作品への楽曲提供（2005年-2010年）、ヴィム・ヴェンダース監督作品『ピナ』への楽曲提供（2011年）等で国際的な評価を受けている。2005年秋よりパリにも拠点を設け、精力的に活動中である。2007年のオリジナルアルバム『Stolen from strangers』、および2013年のオリジナルアルバム『Lost Memory Theatre act-1』は、欧米の音楽誌で「年間ベストアルバム」「音楽批評家大賞」などを連続受賞。ギャラリーラファイエット・オムの「2009年の男」に選出され、同年の5月にはパリの街を三宅純のポスターが埋め尽くした。主要楽曲を提供したヴィム・ヴェンダース監督作品『ピナ/踊り続けるいのち』はEuropean Film Award 2011ベストドキュメンタリー賞受賞、またアカデミー賞2012年ドキュメンタリー部門、英国アカデミー賞2012年外国語映画部門にノミネートされた。



（オフィシャルサイトより）

東京は芸の本場

舞台芸術に欠かせない劇場

新国立劇場

オペラ劇場、中劇場、小劇場の3つの劇場
オペラ、バレエ、現代舞踊、
の公演が行われている。

ゆうぽうとホール

1982年の開設以来舞台芸術の公演
プティ「コッペリア」
ギエム初演のベジャールの「シシィ」など

東京文化会館

東京都交響楽団の本拠地

この10年で閉館

朝日生命ホール、新宿コマ劇場、シアターアプル、東京厚生年金会館、
カザルスホール、東京都児童会館、前進座劇場、ル・テアトル銀座 など

バレエ公演の一大拠点「五反田・ゆうぽうとホール」 9月末で閉館予定
ミュージカルなどに愛用されてきた「青山劇場」
新宿区の日本青年館 一時閉館

フランスの国立劇場、前回の東京五輪の遺産

コメディ・フランセーズ	300年をこえる歴史をもつ古典の殿堂
オデオン座	18世紀の末からある古い劇場
オペラ・コミック座	2005年に新しく国立劇場
シャイヨ劇場	民衆演劇運動を牽引した劇場
コリヌ劇場	現代演劇に特化した劇場

国立霞ヶ丘競技場	国立屋内総合競技場（代々木競技場）
渋谷公会堂	秩父宮ラグビー場
日本武道館	東京都体育館
馬事公苑	
駒沢オリンピック公園総合運動場・陸上競技場	
駒沢オリンピック公園総合運動場・バレーボールコート	



劇場が激減！

青山劇場、日本青年館…消えるバレエの拠点 老朽化で相次ぎ閉館

1月末の青山劇場（東京都渋谷区）を皮切りに、3月末に日本青年館（新宿区）、9月末には、ゆうぼうとホール（品川区）と渋谷公会堂（渋谷区）がそれぞれ老朽化のため、閉館する予定だ。

ゆうぼうとホールは年間約150日もバレエ公演に利用される“バレエの一大拠点”として知られ、閉館のニュースは関係者に衝撃を与えた。

2015年1月18日 産経ニュースより

東京、消えるバレエ劇場 ゆうぼうと・青山劇場・日本青年館・渋谷公会堂…次々と閉館

個々の民間団体だけでは直面する劇場不足に対応できないという危機感から、昨年9月には在京バレエ団を中心に日本バレエ団連盟が発足した。高橋典夫理事長（東京バレエ団）は「日本固有の伝統文化だけでなく、日本のバレエも今や世界発信にふさわしいレベル。優秀なダンサーの海外流出に歯止めをかけるためにも、十分な発表の場は必要。国や都の支援を求めたい」と語る。

2015年6月15日 朝日新聞デジタルより

さよなら青山2つの劇場…アイドル、ダンサーの出発点

青山劇場は、別々に動く小セリやスライドする主舞台など優れた舞台機構を持つ。

円形劇場は、完全な円形、半円形など様々な舞台を使える個性的な構造で、多くの演出家の創造力を刺激した。その一人、白井晃は「僕の時間の深呼吸」で天井全体を時計に見立て巨大な文字盤を浮かび上がらせるなど、様々な空間作りを試みた。

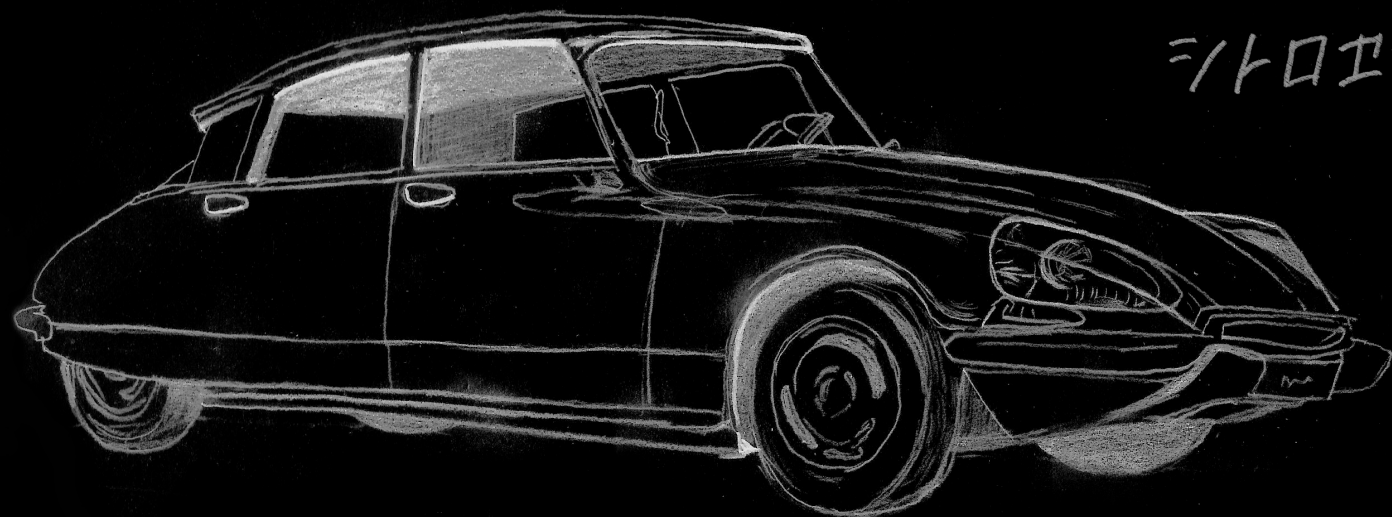
2015年1月28日 YOMIURI ONLINEより

シンギュラリティは近い—人類が生命を超越するとき

2045年問題とシンギュラリティ

2045年。コンピュータ技術の進歩によって、これまでの人類の歴史上経験したことのない、恐るべきシンギュラリティ＝技術的特異点が待っている—。「2045年問題」として、このようなまことしやかな予測がいま話題となっている。

その深刻さは、かつての「2000年問題」などとは比較しようもないという。具体的にはどうということか。現在のほとんどのコンピュータは、プログラムを忠実に実行していく”ノイマン型コンピュータ”である。そのため、与えられた問題を高速で処理することには長けている。ところが、それとはまったく異なる原理の、人間の脳の神経細胞（ニューロン）を模倣した”ニューロコンピュータ”であれば、コンピュータは自ら知性を得ると考えられている。コンピュータ技術が今のペースで加速度的に発達していけば、その先には地球上の全人類の情報記憶量をも上回る、究極の「AI」が生まれる可能性は高い。「AI」がひとたび誕生すれば、自らがそれ以上に優れた「AI」を作り出し、その「AI」がより優秀な「AI」を作り出すという終わりなき連鎖が、更なる加速度的スピードで展開されることになるだろう。そうなれば、もはや未来は、人類の知能では到底推測不可能な領域となる。そして、この「AI」が初めて誕生するシンギュラリティ＝技術的特異点こそ、計算上、2045年であると予測されている。これこそが、「2045年問題」である。



フィットロエン

日本車だってかっこいいのあるもん
おまけに中身が最新だったりしたら



クワラクラケン

デボネア

林
檜
画
伯

1970年 大阪万博開催
それから、ちょうど半世紀
2020年 東京万博開催

この半世紀に
我々が生み出した**宝物**を
未来の子供たちへ託そう

粹の本場、TOKYO